



首都圏産業活性化協会発行

発行：一般社団法人首都圏産業活性化協会 〒192-0083 東京都八王子市旭町9番1号 八王子スクエアビル11階 TEL:042-631-1140

TAMA経済NEWS

TECHNOLOGY ADVANCED METROPOLITAN AREA

VOL.36 2023.09

制作：かながわ経済新聞

首都圏産業活性化協会会員の構成(令和5年8月22日現在総数525) ●営利法人：250(個人事業主、金融機関含む) ●教育機関30 ●団体69 ●自治体20 ●個人会員156(コーディネーター含む)



トップインタビュー

株式会社ワイピーシステム 代表取締役 **吉田 英夫氏**

ワイピーシステムは、各種メッキ加工、自社オリジナル開発の低温黒色クロム(CBC)処理を手がけ、数々の特許を取得しています。メッキに代表される表面処理加工は、廃液による環境問題を抱えており、同社はメッキ工程で廃液を従来比90%削減した装置を開発・稼働させるなど、環境対策にも真っ向から取り組んでいます。同社の吉田英夫社長に話を聞きました。

町工場から表面処理技術の グローバルニッチトップへ 独自技術で高収益体質を確保

小さなメッキ工場からスタート

当社は1987(昭和62)年、私が30歳のときに、M&A(合併・買収)の形で東京都東村山市の小さなメッキ工場を取得してスタートしました。父がメッキ工場に勤めており、私自身も自分の工場を持って経営をしたいと考えていたので、メッキ職人として経験を積んだ後に独立したのです。

創業当時は日本経済が上り調子で、「ジャパン・アズ・ナンバーワン」などと言われており、私もがむしゃらに働きました。90年代に入り、バブル経済の崩壊や金融危機などを経験し、金融機関との取引を通じてお金の怖さを痛感するとともに、精度の高い事業計画を毎年作成することの必要性を肌で感じました。

今振り返ると、当社の転機になったのはIT不況(00年12月から02年1月まで続いたITバブルの崩壊による景気後退期)です。この時期に会社経営をしながら、社会人ドクターという制度を利用して、東京農工大学の大学院に通い、03年に工学博士号を取得しています。

科学に裏打ちされた技術力で差別化

“町工場の社長”である私が大学院に通ったのは、自分が手がけているメッキ加工について「なぜ材料の表面に金属の薄膜がくっつくのか」という基本原理すら理解していなかったからです。このことは多くの中小企業に当てはまると考えますが、もし、その原理が分かっていたら、科学的知見を生かして同業他社と差別化できるのではないかと考えました。

私は00年から東京農工大の大学院で学びながら、次世代表面処理技術研究に着手し、01年には同大大学院との産学連携による「超臨界めっき技術」の研究について、NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の地域コンソーシアムに採択され、助成金を得て大企業とも連携することができました。それ以来、メッキに代表される表面処理技術の高度化と、無公害化に徹底した知財戦略をもって真っ向から挑んでいます。

その後も公的な開発補助金を活用した新技術や製品の開発、受託分析業務に取り組んでいます。こうした研究を基礎に、次世代表面処理技術の特許戦略を徹底しつつ、CBC処理、CNT複合表面処理、六価クロム抽出技術などが生まれました。



“脱下請け”目指し 自社製品の開発・販売に成功

当社は研究開発の知見から自社製品の製造・販売も手がけています。具体的には経済産業省「新連携」の第1号認定事業となった、二酸化炭素消火具「消棒」シリーズです。同シリーズでは、ガラス粉碎用ハン

マーとシートベルトカッターを付けた自動車脱出用の「消棒 RESCUE」もHONDAと共同開発し、JIS規格制定や認証取得も行い国内外の自動車メーカーから純正品に指定されています。

“脱下請け”を目指す中小企業にとって、オンリーワンの自社製品を持つのは夢でしょう。ところが、ほとんどの下請け企業は自社製品を持つメーカーになるための具体的なノウハウを持っていません。当社は大企業を含む産学のコンソーシアムを構築し、協力して開発を進めることで、製品開発の進め方について学べました。さらに国による支援制度も利用しながら、自社製品の開発・販売にこぎ着けました。

会社を存続させることが経営者の使命

創業者である私は現在67歳で、後継者へのバトンタッチを考えています。これまで、儲かる仕組みを作ることこそが、経営者として唯一の仕事だと考えてきました。実際に当社は、数々のオンリーワン技術、自社製品や知的所有権取得により、高い収益性を実現しています。

ところが、引退を意識しはじめると、別の仕事もあることに気づきました。それは、どんなことがあっても、会社を社会に残すということです。創業経営者としての理念



であるハートとマインドを伝えることが大切です。ハートは志、マインドは時代や社会のニーズを感じる力です。今後はこの理念に基づく事業承継の実現が、最大のテーマとなります。

商号 株式会社ワイピーシステム
代表者 代表取締役 吉田 英夫
所在地 埼玉県所沢市牛沼607-6
従業員 28名
創立 1987年
ホームページ <https://www.yip-system.co.jp>



My proud technique is...

TAMA協会会員の

今月の

ワザ自慢!



効率アップ、品質向上、明日のイノベーションのため、独自に磨いた技・業・ワザに学びたい。コンペティターや見えない市場を想定し、自社の強みを打ち出すところに成功の鍵がある。

電子部品製造販売 株式会社テクノランドコーポレーション

最先端科学を駆使し宇宙から医療まで

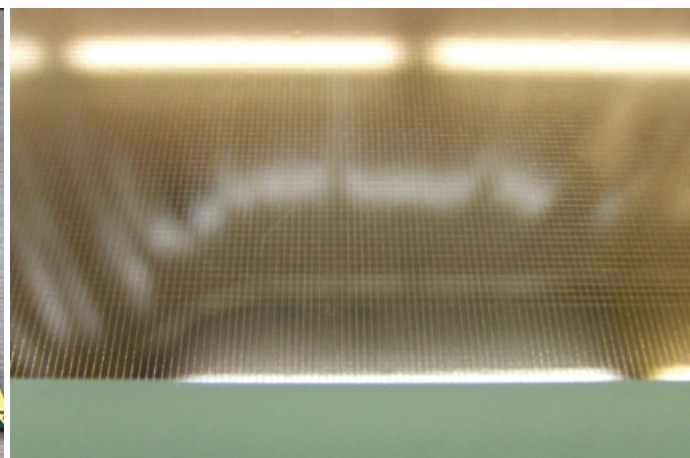
テクノランドコーポレーション(東京都羽村市)はこれまで、素粒子物理学・原子核物理学・宇宙線物理学などで使用する測定器や信号処理装置の開発・設計・製造を手がけてきた。同分野の実験では、ビーム同士や、ビームとターゲットの衝突により生成された粒子の軌跡を検出する装置(検出器)がよく使われる。

同社はその検出器の一つであるMWDC(Multi Wire Drift Chamber)を大学や研究機関などに向け、特注で納めており、近年は粒子線がん治療器などに使用されるスポットポジションモニター(MWPC)やビーム線量モニター(ビームチェンバー)も製造している。

転機は約20年前で、同社のカタログに目をとめた日立製作所の技術者から声がかかった。「粒子線治療器の開発を一緒にやらないかと誘われ、粒子線がん治療器の共同開発が始まりました」と、テクノランドの清水孝志社長は明かす。当初、人の命に関わる治療器の開発に社員は渋ったが、「私は絶対やりたいと言って、社員を説き伏せました」(清水社長)。同治療器の実用化は15年ほど前で、初納入は米国だったが、現在、同社の検出器



(写真1) 検出器の全体像



(写真2) 検出器の網目をクローズアップした画像

は国内十数力所、海外18力所で使われている。

この検出器は、粒子線を照射するノズルとがん照射部の間に設置するもので、直径12.5(現在は20.0マイクロメートルを使用)マイクロメートル(マイクロは100万分の1)のタングステン製ワイヤが、網戸のように縦横に張り巡らされている(写真1)。網目の間隔は0.8ミリメートル(写真2)で「同検出器がセンサの役割を果たすことにより、がんの形状に合わ

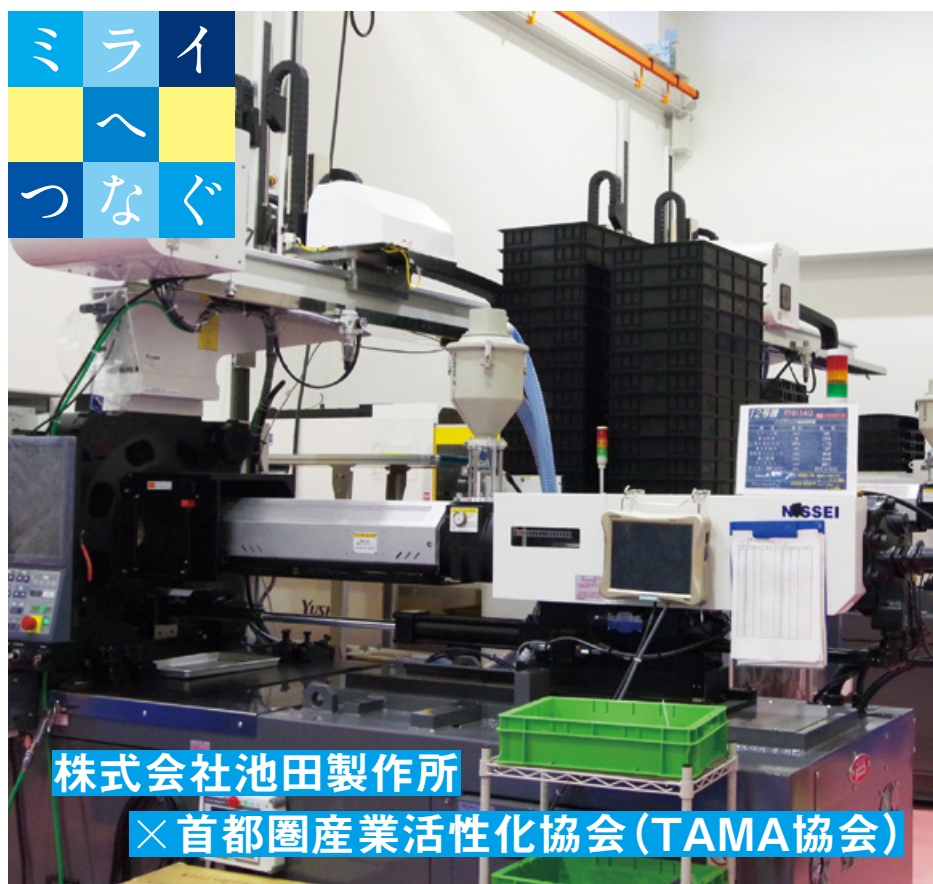
せて粒子線をなぞるように照射するスキャン方式を可能とした。照射精度は約0.2ミリメートルで正常な細胞を極力傷つけない治療ができるようになった」(清水社長)という。さらに自社で独自の巻線機を所有しており、顧客のニーズに合わせた多種多様なチェンバーの製造が可能だ。今後は従来と全く違

う分野の製品開発も計画中だという。

商号 株式会社テクノランドコーポレーション
代表者 代表取締役 清水 孝志
所在地 東京都羽村市川崎2-6-6
創立 1990年4月12日
ホームページ <http://www.tcnland.co.jp>



〔本コーナー掲載企業募集中〕

貴社の「ワザ自慢!」を記者が取材します。お問い合わせは、事務局(info@tamaweb.or.jp)まで

株式会社池田製作所

× 首都圏産業活性化協会(TAMA協会)

10年後の事業承継を見据え次

池田製作所(東京都青梅市)は、医療機器を主力分野とする精密インサート成形加工事業者で、2018年に経営革新計画を取得し、医療機器分野の事業拡大に取り組んでいる。19年3月には、クラス10000のクリーンルームが付帯する新本社工場が稼働した。同社は約4年前に、「経営デザインシート」(内閣府が提供している、これからの経営を構想するための枠組み)にも取り組んだ。首都圏産業活性化協会(TAMA協会)は、池田製作所による経営デザインシートを活用した事業戦略立案の支援を行った。

後継者である息子と
経営デザインシートに取り組む

「経営デザインシートに取り組んだ一番の目的は、事業承継をうまく行うことでした」。こう明かすのは、同社の池田和弘社長。「後継者で

ある私の息子(創業者の孫に当たる)と一緒に取り組み、5回くらいは話をしたと思います。息子は小さい頃から私の働く姿を見ていて、当時は大学の3年生で、アルバイトとして会社の手伝いをしていました」と池田社長。経営デザインシートの作成にあたっては、TAMAコーディネーターの内山氏(中小企業診断士)がアドバイザーとして加わった。

同社が経営デザインシートを作成する中で、先行して設備投資を行ってきた点など、これまでの自社の取り組みについては自信が持っていた一方で、課題も見えてきたという。池田社長によると、「医療機器メーカーに安心安全な製品を提供する上では、設備だけでなくそれを運用する人材が重要で、リーダー人材が不足している」ことだった。今後は、これまで池田社長が担ってきた補助金の活用による設備導入についても、

実施報告

第40回つなぐWaSession

日時・場所: 7月28日(金) 16:00-17:30 八王子新産業開発・交流センター

テーマ: 「補助事業、助成事業の戦略的活用」
～ Go-Tech事業の公募要領を例にポイントを解説～



「RA協議会第9回年次大会」に出展

日時・場所: 2023年8月8日(火)～9日(水) 東京たま未来メッセ(東京都立多摩産業交流センター、東京都八王子市)

参加者数: 679名、所属機関数: 190機関

本協議会は、全国の大学で活動するリサーチアドミニストレーション(RA)業務に携わる方が一堂に会する年次大会を開催しており、今年は東京都立大学が幹事校となり「RA2.0 ～定着 その先へ～」をテーマに開催。協会の出展ブースでは、会員の大学研究シーズ・産学連携事例、八王子市が実施するMICE助成金制度などの紹介を行いました。



経済産業省 令和4年度補正採択事業 「首都圏ものづくりDX推進コミュニティ」主催

日時・場所: 8月24日(木) 東京たま未来メッセ会議室

テーマ: 「第2回攻めと守りのサイバーセキュリティ対策ワークショップ」

第12回自治体地域産業政策勉強会 令和5年度第1回産業振興セミナー

日時・場所: 8月25日(金) 東京たま未来メッセ会議室

テーマ: 「社会課題解決を目指した公民連携・産学官金連携」

第41回つなぐWaSession

日時・場所: 8月25日(金) 東京たま未来メッセ会議室

テーマ: 「身近に迫っているサイバー攻撃から自社を守る」



第37回はむらイブニングサロン

日時・場所: 9月7日(木) 16:00～ 羽村市産業福祉センター

テーマ: 「DX時代のサイバーセキュリティ対策」

今後の予定

Layer1: 交流

第42回つなぐWaSession

日時: 2023/9/22(金) 15:30～18:00(予定) 場所: 社のホールはしもとセミナールーム1+オンライン会議Zoom テーマ: ゲストと考える未来の経営について(仮)

Layer1: 交流

第43回つなぐWaSession

日時: 2023/10/20(金) 第一部16:00～18:00 第二部18:00～20:00/施設見学・懇親会(予定) 場所: 東京都立大学日野キャンパス「TMU Innovation HUB」(東京都日野市) テーマ: 「都立大新棟開設特別企画 産学公連携・大学発スタートアップの取り組み紹介」

Layer1: 交流

第38回はむらイブニングサロン 10月中旬に羽村市内で開催予定

BUSINESS FAIR^{23rd}

第23回ビジネスフェア

～協創社会の実現へ～

西武信用金庫の「ビジネスフェア」は、地域の中小企業の皆さまのビジネスチャンス拡大を目的に2000年から継続実施してきました。今年は「協創社会の実現へ」をテーマに、地域の中小企業と当金庫が連携している企業・団体を結びつけることによって地域の活性化を図り、「競争」ではなく「協創」を意識し、「サステナブル」な社会の実現への第一歩となるようなイベントを目指してまいります。

開催日

令和5年**11月14日(火)**10時～17時

開催場所

渋谷ヒカリエ ヒカリエホール

出店企業数

225事業者(予定)

次代を担う人材を育成

リーダー育成の観点から、現場の社員に任せしていくという。

IoTシステムの構築で 20代の若手をリーダーに抜擢

池田製作所は社会のデジタル化に合わせ、17年10月にIoT推進モデル事業への取り組みを開始している。22年8月からは革新的事業展開設備投資支援事業の助成金を活用し、IoTシ



ステム導入による生産工程の見える化と組織改革の推進に取り組んでいる。「最近、製造現場にいる20代の若手社員から、今のシステムは使い勝手が悪いと言われました。それなら自分たちでシステムを調整して完結させるところまでやってみなさいと、その若手を DX(デジタルトランスフォーメーション)のリーダーに抜擢しました」(池田社長)。

同社では現在、横型成形機フロア、縦型成形機フロア、検査室、精密印刷機のあるフロアにモニターを設置し、受注から生産、出荷までをリアルタイムで表示するシステムを構築中で、既にパソコンでは情報を管理できている。現在は、情報を蓄積するとともに、従業員がスマートフォンでも入力などができるアプリケーションを開発中で、23年秋にも運用を始める予定だ。これにより「今までベテランの経験に頼っていた部分が、

可視化され、経験の浅い人も生産状況が簡単に把握できるようになります」と社員の高橋和行さんは答える。

女性がリーダーとして活躍できる会社に

若手活躍の場は製造現場だけでなく、会社のPRにも広がっている。同社では本来業務の傍ら、サークル活動の一環として、法政大学キャリアデザイン学部の学生の協力を得て、Instagramなどを活用した会社のPR動画作成などに取り組んでいる。

また、経営デザインシートの「企業としてありたい姿」として、女性がリーダーとして活躍できる会社を掲げる同社は、若手の女性の教育・企画リーダーを配置。新入社員の採用後は約3か月にわたり、「不安を取り除けるように、コミュニケーションをなるべく取りながら、現場での立ち回り方などについてアドバイスしています」(社員の



小沢真結子さん)。池田社長は、「トップダウンだと社員に“ワクワク感”が生まれず、定着率にも関係してきます。今取り組んでいるのが新卒へのアプローチで、今春には高卒の新入社員が2人入りました」と話す。今後も、会社見学への対応などを若手社員にらせていく方針を示す。

商号 株式会社池田製作所
代表者 代表取締役 池田 和弘
所在地 東京都青梅市長瀬8-178-2
創立 1973年1月5日
ホームページ <https://ikedaseisakusho.jp>





広げよう会員の輪 新規会員の紹介

新規会員との意見交換・面談を希望する方は、事務局へご連絡ください。



NEW

医療機器の新規事業を ニーズ調査から承認取得まで 一貫通貫で支援します!



プレモパートナーは医療機器の専門家集団(薬事承認、保険償還、QMS、マーケティングなど)で構成され、多角的なアドバイスをしながら事業を成功に導きます。医師とのネットワークなども持っているため、医師へのインタビューをベースにしたニーズ探索、市場調査も得意としています。必要とされる医療機器を少しでも早く現場へお届けするために、皆様の開発フェーズに合わせ、全体像を見ながら必要なコンサルティングサービスを提供しています。



プレモパートナー株式会社

東京都中央区日本橋本町 3-11-5 日本橋ライフサイエンスビル2、#601

TEL 03-6661-2590 URL <https://www.premopartners.com>

NEW

独自のプラットフォームの創造で 医療ヘルスケア分野に革新を起こす

株式会社メディエイドは、個人の健康・医療に関するデータである「PHR(Personal Health Record)」を活用した、医療ヘルスケア・プラットフォームを提供しています。

生活者・患者と、医療機関や薬局、介護事業者などをつなぐ新たな仕組みを構築し、多くの人々の笑顔と健康に寄与しています。

UX(利用者の体験)に基づき、そのニーズに柔軟にこたえられるさまざまな医療ヘルスケア・サービスを提供し続けます。



代表取締役社長 矢島 弘士



株式会社メディエイド

東京都千代田区内神田3-2-1 喜助内神田3丁目ビル3階

TEL 03-3526-6781 URL <https://mediaid.co.jp>

NEW

KIP 公益財団法人 神奈川産業振興センター

KIP(神奈川産業振興センター)は神奈川県と連携し、県内の中小企業・小規模企業様に経営相談サービスを提供する公的機関です。

- ・1955年から蓄積する経営支援ノウハウがあります。
- ・中小企業診断士やITコンサルタントなど多様な専門家を擁しています。
- ・国とも連携しているため、サポートメニューが充実しています。

公益財団法人神奈川産業振興センター

神奈川県横浜市中区尾上町5-80

TEL 045-633-5000

URL <https://www.kipc.or.jp>

NEW

多様な支援メニューを用意し、 中小企業の皆さまを応援します

中小機構は、国の中小企業政策の実施機関として、起業・創業期から成長期、成熟期に至るまで、企業の成長ステージに合わせた幅広い支援メニューを提供しています。

急速に変化するこれからの時代でも、中小企業の皆さまが最大限の能力を発揮できるよう、直接的な伴走型支援、人材の育成、共済制度の運営、資金面での各種支援やビジネスチャンスの提供を行うとともに、地域の自治体や支援機関、国内外の政府系機関と連携しながら、成長をサポートしています。



海外企業の経営者との商談会の様子(海外CEO商談会)

独立行政法人中小企業基盤整備機構(略称:中小機構)

東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

TEL 03-3433-8811(代表) URL <https://www.smrj.go.jp>



NEW

個人会員

小池 輝政(こいけ・てるまさ) 工業デザイナー **得意領域** モビリティのデザイン。他の工業デザイン、グラフィックデザイン全般対応可能

児玉 孝幸(こだま・たかゆき) 早稲田大学循環型環境技術研究センター招聘研究員 **得意領域** 海外展開、マーケティング、戦略立案

TAMAコーディネーターの紹介



河西 崇(かわにし・たかし)

中小企業診断士
知的財産管理技能士2級
販売士1級

専門分野 研究開発・産学連携

支援分野 ▽農林水産業の経営改善全般 ▽製造業の経営改善全般、マッチング ▽補助金申請支援 ▽女性活躍推進法や労働安全衛生法の法改正対応支援

メッセージ

勤務先での営業部門、外注管理部門、生産部門、開発部門の経験を活かした経営改善をご提案いたします。専門分野は農業分野ですが、製造業、小売業にも対応します。小売業はECの実務経験もごございます。創業3年目のベンチャー企業の株主、監査役も務めており、創業支援の対応も可能です。

コーディネーターとは... 一般的に「コーディネーター」とは、さまざまな人の想いや場の状況を整理し、物事が円滑に進むように調整する役割を持つ人のことを指します。複数の組織や立場の方が連携しながら進めるべきプロジェクトが数多くありますが、コーディネーター自らの確かな知識や経験、豊富な情報をもとに、連携をスムーズに調整する役割を果たします。 ※コーディネーター一覧はURLからもチェックできます。



TAMA経済NEWS(つなぐWa)では広告協賛いただける企業を募集しています。詳細は事務局(info@tamaweb.or.jp)までお問い合わせください。

【サイズ】①横57[㍥]×縦48[㍥]、②横57[㍥]×縦100[㍥]、③横262[㍥]×縦98[㍥]、④横127[㍥]×縦142[㍥](特別枠)の計4タイプがあります。

発行元・問い合わせ

一般社団法人首都圏産業活性化協会会報「つなぐWa」は、協会ホームページへ掲載し、メールマガジン等で企業・自治体・商工団体・金融機関等へご案内しています。

一般社団法人首都圏産業活性化協会 Email:info@tamaweb.or.jp URL:<https://www.tamaweb.or.jp/>

■八王子事務所

〒192-0083 東京都八王子市旭町9-1八王子スクエアビル11階 TEL:042-631-1140 FAX:042-631-1124

■羽村サテライト(月曜日休館)

〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘2-11-1羽村市産業福祉センター1階 TEL:042-570-3481 FAX:042-570-3482